

平成 30 年度 第 2 回 松戸市子どもの未来応援会議 会議録（要旨）

1. 日時 平成 30 年 11 月 19 日（月） 午前 10 時 20 分～11 時 50 分
2. 場所 議会棟 3 階特別委員会室
3. 出席者 <委員> 9 名
阿部委員、湯浅委員、赤石委員、沖委員、石井委員、
郡委員、町山委員、久保木委員、胡内委員

<松戸市>
子ども政策課、子育て支援課、子どもわかもの課、幼児保育課、
行政経営課、商工振興課、健康福祉政策課、生活支援一課、
住宅政策課、教育企画課、学務課、指導課、保健体育課、
教育研究所、子ども家庭相談課
(事務局：子ども家庭相談課子どもの未来応援担当室)
4. 傍聴者 1 名
5. 議題 (1) 松戸市子どもの未来応援会議最終報告に向けた検討について
(2) その他
6. 連絡事項

<要旨>

- (1) 松戸市子どもの未来応援会議最終報告に向けた検討について

(会長)

松戸市子どもの未来応援会議最終報告に向けた検討について、事務局より資料 1・2 の説明をお願いしたい。

(事務局)

資料 2 と資料 1 の一部を説明

(会長)

事務局からの説明で、どのような整理になっているか理解いただけたと思う。最終報告には、皆様方からいただいたご意見をどのように反映させるかということであるが、委員の皆様には資料の一番右端に記載されていることを中心にお読みいただき、さらにこれでは足りない、記載した方がよいのではないかといった意見を頂戴できればと思う。ボリュームがあるので、区切りながら進めていきたい。

1 ページから 6 ページまでを事務局より説明いただきたい。

(事務局)

資料 1 の 1 ページから 6 ページまで説明

(会長)

ご意見をいただければと思う。

(委員)

3 ページの一番下の枠、「体験不足を補うため、民間によるマッチング促進も重要である。」という一文は、とても大事なことだと思うが、同時に普通の世帯が参加することを想定した料金、申込方法、時間設定だと、困難を抱える子どもがいる家庭にとってハードルになることがあると思う。そのため、「参加しやすい仕組みとしてマッチングする」というような言葉を入れておいた方がハードルは下がるのではないかと思った。

(会長)

ご一緒したシンポジウムでもおっしゃっていたことを今、思い出した。具体的な修正の意見をいただいたが、ご異論なければそのようにしてはいかがか。

(事務局)

そのようにさせていただく。

(会長)

では修正させていただく。他にいかがか。

(委員)

2 ページの 2 つ目、「自分に何かできることはないかと考える」というところ、元の委員の指摘が、ファミリーサポートセンター事業とか一般の子育て世帯に

有効な施策が、間接的にも貧困対策にも関わることがあるというような指摘かと思うが、私も大事なことだと思っている。

子どもの貧困と言うと福祉的な難しい課題と一般の方は思われている方が少なくないと思うので、もう少し皆が普通にやっていること、スポーツ観戦やバーベキューなどを含めて、広い意味で子どもの貧困対策になりうるし、あなたにも出来ることがありますというあたりが、地域づくりの話だと思っている。

そのことを踏まえると市がやるべきこととして、好事例の横展開も大事だと思うが、もう1つあると思った。間接的に影響することも含めて、広めの枠組みで参加人数の増を示していく。それにより、多くの人がこの問題に関わっている雰囲気醸成していくことが大事ではないかと思う。

古い話だが、イギリスでブレア首相が子どもの貧困対策としてソーシャルインクルージョンに力を入れた時に、ソーシャルインクルージョンユニットを作り、割と間接的な費用も含めて、ソーシャルインクルージョン費用に間接的に関係しているという示し方をされた。日本の場合も狭くとれば、子どもの貧困対策は児童扶養手当になるが、広くとれば一般施策の児童手当も貧困対策に関係している。広くとると、規模が大きく見える。規模が大きく見えると、より多くの人に参加している感じになり、市民の盛り上がりや皆が関わることが当たり前になってきていると実感していただけるのではないかという意味で、規模の見せ方が大事だと思う。

好事例のピックアップと横展開に加えて、表現の仕方がすぐに思い浮かばないが、ファミリーサポートセンター事業の参加人数なども含めてより多くの人、この課題に直接的、間接的に関わっているし、毎年増えていると見せていくことが出来るかと思うので、検討いただけるとうれしい。

(会長)

「皆が参加しているとなると、私もしないと」となってくるので、文章的には少し時間を要すると思うが、趣旨を踏まえて取り入れていくという事で、お願いしたいと思う。他にいかがか。

(委員)

ここだけではなく、全体的な話になるが、中間報告から最終報告にあたっては、もう少し積極的な言いぶりが出来ないのかと思っている。

例えば、この中のアンダーラインの印のところだけでも、「重要である」とか、「となりうる」、「そういった視点が必要である」というような言葉で全部終わっている。重要であるのは皆わかっているので、必要であるなら必要であると書けばよい。計画ではないので「やります」とは書けないと思うが、なりう

るについては、なりうるけどそれがどうすべきか、よくわからない。語尾をもう少し変えられないか。せっかくこんなに長い間検討してきたのに、最終報告として、「重要である」ではあまりに寂しいと思うので是非お願いしたい。

(会長)

語尾の「必要である」という記述ばかり続くと文章的に美しくないという理由で、「視点」を入れたところもあると思う。

全体的に語尾に気をつけて、出来る限り強い表現で、中間報告と最終報告の違いでもあるという意味として示していく必要があると思うので検討していただきたい。

(委員)

もっと言うと、「すべきである」という表現がよいと思う。

(会長)

特に委員の皆さんのご意見が一致した点については、さらに、「すべき」という表現も取り入れていただきたい。私の方でも気を付けて見ていきたい。

他にいかがか。また戻ってくることもできるので次に進む。7ページの「3 支援制度へのアクセスの在り方について」から9ページの「4 学校・教育の重要性について」まで事務局から説明いただきたい。

(事務局)

7ページから9ページまで説明

(会長)

7ページから9ページまでの範囲のところで意見などあったらお願いしたい。

中間報告から最終報告に向けてということで、その間に新たにより明確になった事実はいくつかあり、特に調査の集計が詳細に出てきた中で、松戸市においてはひとり親家庭が大変厳しいということ、また制度等へのアクセスにおいて課題があることがより明確な形で示されたと私自身思っている。このように数字で、報告の中に示すことは大変意義のあることである。調査報告書は膨大で多くの市民の目に触れる機会は必ずしも多くはないと考えると、中間報告から最終報告に向けて更に必要なデータを書き込むことでギアをあげる事項にあたるのではないかと思う。

(委員)

出来るかどうかという意味でハードルが高いと思うが、相談窓口のワンストップ化の更なる推進は良いと思う。それに加えて、子育て世帯の情報へのアクセスとしての意見で圧倒的なのは、学校便りである。「市のホームページに載る、窓口の案内を充実させる」こともとても大事だと思うが、情報をいかに届けるかということ、就学援助のお知らせのように、もし学校経由で伝えられたら、例えばトワイライトステイなど、「こんなサービスもあるのだ」と初めて気が付く方も相当いると思う。学校の理解もないと出来ないことなので、ここで言ったからといってすぐに出来ますということではないとは思いますが、一つの方法としてであると指摘できると良いと思った。

(会長)

大変有力な方法だと思う。松戸市の子ども達のことを考えて、今一步進めることができるかどうか。おそらく市の当局の中の調整もあると思うが、私も含めて委員の気持ちであるということ伝えて、一步二歩の前進をして、出来ればこの中に少し落とし込むこともトライをしていただければと思う。

(委員)

今の関連だが、あらゆる手段を使ってPRすることは、とても大事だと思っている。それと同時に、相談窓口で市民が来た時に、その相談を受けた方がサービスを知らなければそれで終わってしまう。相談窓口に限らずカウンターもだが、良い職員にあたった市民は良い対応をしてもらえる。できればカウンターも含め、少なくとも相談窓口で相談を受ける職員はサービスについて深く知らなくても良いが、概略ぐらいは覚えておいて欲しい。

おそらく今、子どもに関する松戸市の支援は400近くあると思う。その他に、県とか民間がやっているものを考えると、おそらく450~500ぐらいの種類があると思う。それを全部詳しく相談員が知るということは難しいと思うが、この場合はこんなサービスがあると、名称だけでも知っている対応が変わってくると思う。そのような部分も一方では大切なかと思ったので参考までに話した。

(会長)

今の状態を前進させるということで、事務局の方で引き取って検討していただければ思う。

(委員)

ひとり親の支援のところは、書き込んでいただいているので、特に変えて欲

しいということではないが、今年、児童扶養手当と現況届を巡っては、私が Yahoo ニュースに書いた記事を基に厚生労働省が事務連絡を出した。これは相談員ではないが、児童扶養手当の現況届提出の時に、事実婚の規定があるために、「男性と交際していませんか」とか「妊娠していませんか」と聞く自治体が多い。松戸市は確認していないが、これは要件があるので聞かざるを得ない。けれども、職場で聞いたらセクハラになるようなことが、窓口で行われていることで、窓口嫌いの方が増えている。実態を書いたところ、厚生労働省が「配慮を求めろ」という曖昧な形ではあったが事務連絡を出した。

構造的に問題が潜んでいる手当であり、当事者にとって、窓口は非常に行きづらい所だと、なかなか伝わっていない。役所の方はまじめにやっているのに、どこまで当事者に配慮した対応ができるのか大事なところなのでお伝えしておきたい。

もう一つ、私が足立区で色々な事業のプロポーザル選考委員をさせていたが、訪問と書いてあるので一言申し上げたい。

不登校のお子さんや困難を抱えているお子さんを、福祉事務所や児童扶養手当、親子支援の担当課が募集をかけたのではなく、ピックアップして、この家庭が非常に困難であると訪問事業者の訪問支援員を派遣するという事業をやりました。

中学で数年間不登校になり、そこで発達障害が発見され、無事に支援を受けて高校受験し入学できたという好事例があった。プロポーザル選考で事業者を皆で決め、一人の子どもに何十万という予算を投入したが、成果としては困難を解決する方向に向かっていて、議会でも評価を得ていると聞いている。

困難を抱えている子には、かなりの投入をしないとその先にはいかないということも含めて、「訪問支援」とすらっと書いてあるが、そこに質を問うことが必要だと思うので、もう少し積極的な書き振りがあっても良いのではないかと。今すぐ予算が出るかと言ったら、かなりの額なので難しいかと思うが、訪問支援員によってはそこまでの変化が起きるということがあったので紹介しておく。

(会長)

これも工夫していただければと思う。

それでは次、また戻りうるということで進む。10 ページ目の 5 ひとり親家庭への支援強化についてから最後まで、事務局より説明をお願いしたい。

(事務局)

10 ページから 15 ページまで説明

(会長)

なかなか取り込みきれていない所もあるように思うが、皆さんからの意見を
お願いしたい。

(委員)

12 ページ、修正点のない「6 子ども・妊産婦を含む親の健康の確保等につい
て」、最近医師会の方と話しをする機会があった。違っていたら教えて欲しいの
だが、学校で歯科検診をして、受診が必要とされた子どものうち全国で 2 割ぐ
らいが病院に行っておらず、誰が病院に行っていないか学校は把握している
と言っていたが本当か。

(委員)

子どもが受診して病院でサインをもらい、学校に提出するため把握している。

(委員)

学校は分かっているけど、対応出来ていないということですね。学校の先生
も忙しいかと思うが、貧困家庭の子どもの口腔崩壊の可能性も高いということ
で、私のお会いした歯科医師会の方は、それを何とかしようと県単位で動きが
出てきていると聞いているので、〇〇委員の意見も聞いた方が良いと思うが、
歯科医師会との連携とかも入れられると良いのではないかと思う。

(会長)

これは〇〇委員と相談をしていただき、もう少し書き込む方向で調整を図っ
ていただきたい。他にいかがか。

(委員)

もっと前の段階でコメントしておけばよかったが、中間報告がもっと増える
と思っていたので、言っていなかった。この中に、外国籍の子どもについての
記述が入っていない。調査で、外国ルーツの子どもを持つ家庭について、特別
に集計しているのは、私が知る限りでは松戸市しかない。松戸市が一番サンプ
ル数として取れて、分析に耐えられるサンプル数があったということもあるが、
この数値は非常に重要で、おそらく他の自治体も外国籍のルーツのお母さんが
どのくらい学校からのお便りを読んでいるかという数値は出していないと思う。
例えば、外国籍のお母さんたちは 60%が学校からのお便りを読めていない。だ
からといって学校がすべての言語で手紙を出せというわけではないが、何らか
の検討が必要で、検討を始めるとい言葉になるかもしれないが、必要ではな

いか。

(会長)

松戸市にとって、この調査は宝物だと思う。こうした調査はそれほど頻繁に実施できることでなく、しかも〇〇委員のような専門家の目から見て、外国籍について集計した全国で唯一のデータとなると、放っておくのはもったいないし、しっかり活かしていくべきだと思う。書き起こしという形になるかと思うが、ここはもう一回調査を見ながら、特に今、〇〇委員からご指摘いただいた「親御さんに必要な情報が届きにくい状況になっている。」このあたりを中心に書き込むことについて、検討をお願いしたい。

数値目標とか連携とか大きな意見を頂戴しているが、他によろしいか。

では、次の議題に移る。

(2) その他について、事務局よりお願いしたい。

(事務局)

(2) その他

今後のスケジュールと今年度の活動について説明

(会長)

今回集めようとしているメッセージの趣旨は、松戸市の子どもたちを応援するというメッセージだということを明確にさせていただき、全員の名前が常にセットで、寄せ書きと言ったが、そのような形でしか使わないという約束の下で、場合によっては短いものでも良い、思いを伝えるということで、また本日ご欠席の委員の方もいるので、趣旨を徹底して進めていただくということでよろしいか。普段メッセージを出していない委員のことも念頭におきながら、注意して慎重な扱いをお願いしたいと思う。

あと会議も 1 回となる。次回は本日いただいた意見を踏まえた修文案という形で、もっと見やすい形を通して、中間報告から変わったところをアンダーラインで、さらに今日の会議で変わったところをわかる形で示し、なおかつメッセージも集まっていると思うので、用途をきちんと示した形で、別途資料という形で提出していただくようお願いする。

他に意見はいかがか。ないようなので、本日の議事は終了する。